

課題番号 : F-16-OS-0045
利用形態 : 技術相談
利用課題名 (日本語) : 被覆型分子を用いたナノサイズの化学物質センサーの開発
Program Title (English) : Fabrication of nano-sized chemical sensors using the insulated sensory molecules.
利用者名 (日本語) : 細見拓郎
Username (English) : T. Hosomi
所属名 (日本語) : 京都大学大学院, 工学研究科, エネルギー化学専攻
Affiliation (English) : Dep. Energy and Hydrocarbon Chemistry, Grad. School of Engineering,
Kyoto University

1. 概要 (Summary)

電極表面における有機分子の集積性と方向一義性を評価するために、広範な単原子層を有する平坦 Au 基板が必要としている。一方、このような平坦基板を製作するためには、専用設備だけでなく、仔細に渡る技術的ノウハウが必要となる。今回、チャンバーベーキング温度や蒸着温度、アニーリング条件などを伝授頂くことで、平坦基板作成における知見を得ることが出来た。

実験については、昇温蒸着について打ち合わせを行った直後に実施機関(大阪大学)側の装置が故障し、復旧した時期とこちらの異動が重なったため、実施には至らなかった。

2. 実験 (Experimental)

3. 結果と考察 (Results and Discussion)

4. その他・特記事項 (Others)

なし。

5. 論文・学会発表 (Publication/Presentation)

なし。

6. 関連特許 (Patent)

なし。